

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年2月14日
【四半期会計期間】	第16期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	株式会社アドバンスト・メディア
【英訳名】	Advanced Media, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸
【本店の所在の場所】	東京都豊島区東池袋三丁目1番4号
【電話番号】	03-5958-1031（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 立松 克己
【最寄りの連絡場所】	東京都豊島区東池袋三丁目1番4号
【電話番号】	03-5958-1031（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 立松 克己
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第3四半期連結 累計期間	第16期 第3四半期連結 累計期間	第15期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	789,856	880,869	1,239,006
経常損失(千円)	318,228	185,494	250,796
四半期(当期)純利益(千円)	1,689,546	427,370	1,646,276
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,899,552	240,447	1,987,269
純資産額(千円)	3,900,061	4,215,594	3,975,146
総資産額(千円)	4,196,225	4,507,636	4,350,106
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	11,071.59	2,800.55	10,788.04
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	92.9	93.5	91.3

回次	第15期 第3四半期連結 会計期間	第16期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 10月1日 至平成23年 12月31日	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 ( )(円)	835.51	378.52

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

2012年7月において、持分法適用会社株式会社サイバークラーク研究所が事業運営を停止し、解散手続きを行っております。以後、同様の事業化を当社において進めております。なお、主要な関係会社における異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更があった事項は、次のとおりであります。

2012年7月において、持分法適用会社株式会社サイバークラーク研究所が事業運営を停止し、解散手続きを行っていることにより、投下資本額に対し全額の評価損を計上したため、前事業年度の有価証券報告書に記載した「 B 関連会社株式会社サイバークラーク研究所について」は消滅しております。

2012年8月において、売却を制限されていた株式（米国 NASDAQ上場）の全てを公開買付けにより売却したため、前事業年度の有価証券報告書に記載した「 株式売却の制限」は消滅しております。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、両社の合意により解消した契約は以下のとおりとなっております。

その他の契約

契約会社名	相手方の名称	契約締結日	契約内容	契約期間
株式会社アドバンスト・メディア（当社）	株式会社ニチイ学館	平成21年8月7日	資本業務提携	平成21年8月7日からニチイ学館の当社持株比率が3%未満となった日まで。 もしくは契約書の解除規程に基づき当契約が解除された日まで。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）業績の状況

当社グループは、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく第2次中期経営計画を推進しております。当連結会計年度は、ソリューションとプロダクトの商品力強化による拡販と新機軸サービス事業に取り組んでおります。

そのような中、売上高に関しましては、KDDI株式会社の話しかけるだけでスマートフォン操作をサポートするアプリ「おはなしアシスタント」および、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ2012冬モデルスマートフォンAQUOS PHONE ZETA SH-02E（シャープ製）に当社の音声認識技術AmiVoice®が採用され、パートナー企業であるみずほ情報総研株式会社と生命保険会社2社に「コールセンター向けソリューション」を導入したことなどにより、全体では前年同期を上回りました。

損益に関しましては、粗利益率および販売費及び一般管理費は当初計画通りで推移いたしました。また、保有していたMModal, Inc.（米国）株式全てを売却したため、特別利益として投資有価証券売却益663百万円を計上し、保有している米ドル預金などが円安により、為替差益88百万円を計上いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は880百万円（前年同四半期は売上高789百万円）、営業損失は256百万円（前年同四半期は営業損失341百万円）、経常損失は185百万円（前年同四半期は経常損失318百万円）、四半期純利益は427百万円（前年同四半期は四半期純利益1,689百万円）となりました。

音声事業のうち各事業部別の状況は、以下のとおりであります。

##### CTI事業部

パートナー企業であるみずほ情報総研株式会社と生命保険会社2社に「コールセンター向けソリューション」を導入いたしました。

##### クラウド事業部

KDDI株式会社の話しかけるだけでスマートフォン操作をサポートするアプリ「おはなしアシスタント」および、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ2012冬モデルスマートフォンAQUOS PHONE ZETA SH-02E（シャープ製）に当社の音声認識技術AmiVoice®が採用されました。

##### 医療・公共事業部

医療分野においては、音声認識によって手軽に電子カルテに文字入力ができる「AmiVoice® Ex7」シリーズの製品拡販を推進いたしましたが、主力製品のひとつである「AmiVoice® Ex7 Clinic」の販売が計画を下回るなどから、医療分野全体で計画を下回りました。

議事録分野においては、当第3四半期連結会計期間において、新たに地方自治体2件の案件を獲得いたしました。

コンシューマー向け製品の分野においては、前モデルに比べ、語彙数を約5倍に増やし認識率を向上させた「AmiVoice® SP2」の発売を開始いたしました。

#### （2）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### （3）研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、155百万円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	358,000
計	358,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	152,602	152,602	東京証券取引所 (マザーズ)	当社は単元株制度 は採用しておりま せん。
計	152,602	152,602	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成25年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権等の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日	-	152,602	-	4,585,097	-	3,051,797

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 152,602	152,602	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	152,602	-	-
総株主の議決権	-	152,602	-

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役	-	森 信介	平成24年11月22日

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、海南監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,026,076	2,140,584
受取手形及び売掛金	371,323	201,374
商品及び製品	4,848	21,229
仕掛品	371	40,199
原材料及び貯蔵品	469	13,757
未収入金	387,120	119,254
その他	52,101	107,469
貸倒引当金	3,482	1,472
流動資産合計	1,838,828	2,642,397
固定資産		
有形固定資産		
建物		
減価償却累計額	67,979	67,979
減損損失累計額	35,171	35,171
建物(純額)	32,807	32,807
建物(純額)	-	-
その他		
減価償却累計額	96,006	97,661
減損損失累計額	80,621	82,414
その他(純額)	11,992	11,968
その他(純額)	3,391	3,278
有形固定資産合計	3,391	3,278
無形固定資産		
ソフトウェア	12,619	3,310
無形固定資産合計	12,619	3,310
投資その他の資産		
投資有価証券	1,921,558	1,080,364
敷金及び保証金	74,042	74,082
長期前払費用	206,861	514,423
長期未収入金	293,703	190,515
その他	465	146
貸倒引当金	1,363	884
投資その他の資産合計	2,495,267	1,858,648
固定資産合計	2,511,278	1,865,238
資産合計	4,350,106	4,507,636



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	69,905	34,416
未払金	35,664	33,466
リース債務	1,381	125
未払法人税等	19,881	41,695
前受金	66,014	94,572
その他	30,674	32,340
流動負債合計	223,523	236,617
固定負債		
リース債務	178	93
繰延税金負債	144,360	48,340
資産除去債務	6,897	6,991
固定負債合計	151,436	55,424
負債合計	374,960	292,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,585,097	4,585,097
資本剰余金	3,577,231	3,577,231
利益剰余金	4,444,627	4,017,256
株主資本合計	3,717,701	4,145,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	260,691	72,357
為替換算調整勘定	5,296	3,885
その他の包括利益累計額合計	255,394	68,471
新株予約権	2,050	2,050
純資産合計	3,975,146	4,215,594
負債純資産合計	4,350,106	4,507,636

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	789,856	880,869
売上原価	310,181	336,989
売上総利益	479,675	543,879
販売費及び一般管理費	821,418	799,996
営業損失( )	341,743	256,117
営業外収益		
受取利息	3,477	2,718
有価証券利息	4,742	14,909
為替差益	-	88,324
投資有価証券売却益	-	6,609
持分法による投資利益	22,233	-
関係会社株式売却に伴う精算分配金	-	54,171
雑収入	383	67
営業外収益合計	30,837	166,802
営業外費用		
支払利息	225	50
持分法による投資損失	-	97,368
為替差損	762	-
デリバティブ評価損	3,354	-
雑損失	-	469
貸倒引当金繰入額	2,979	1,708
営業外費用合計	7,322	96,179
経常損失( )	318,228	185,494
特別利益		
関係会社株式売却益	2,008,502	-
投資有価証券売却益	-	663,214
持分変動利益	2,848	-
特別利益合計	2,011,350	663,214
特別損失		
固定資産除却損	26	-
その他	7,442	-
特別損失合計	7,469	-
税金等調整前四半期純利益	1,685,652	477,720
法人税、住民税及び事業税	2,850	42,078
法人税等調整額	6,743	8,271
法人税等合計	3,893	50,350
少数株主損益調整前四半期純利益	1,689,546	427,370
四半期純利益	1,689,546	427,370

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,689,546	427,370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	130,781	188,334
為替換算調整勘定	2,350	1,411
持分法適用会社に対する持分相当額	81,574	-
その他の包括利益合計	210,005	186,922
四半期包括利益	1,899,552	240,447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,899,552	240,447
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	42,569千円	11,793千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、第2四半期連結会計期間において関係会社株式を譲渡し、関係会社株式売却益2,008,502千円を特別利益に計上いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が4,388,725千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

当社グループは、音声事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 ( 自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日 )	当第 3 四半期連結累計期間 ( 自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日 )
( 1 ) 1 株当たり四半期純利益金額	11,071円59銭	2,800円55銭
( 算定上の基礎 )		
四半期純利益金額 ( 千円 )	1,689,546	427,370
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 ( 千円 )	1,689,546	427,370
普通株式の期中平均株式数 ( 株 )	152,602	152,602
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

( 注 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月13日

株式会社アドバンスト・メディア  
取締役会 御中

海南監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 古川 雅一 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 秋葉 陽 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アドバンスト・メディアの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アドバンスト・メディア及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。